

5 指導案について

第 学 年 組 体育科学習指導案

平成 年 月 日 ()

指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○○○ (領域名を記入)

※キャッチフレーズ等, 児童の学習意欲をかきたてるような表現にする。

2 授業づくりの構想

(1) 運動の持つ特性

(単元について)

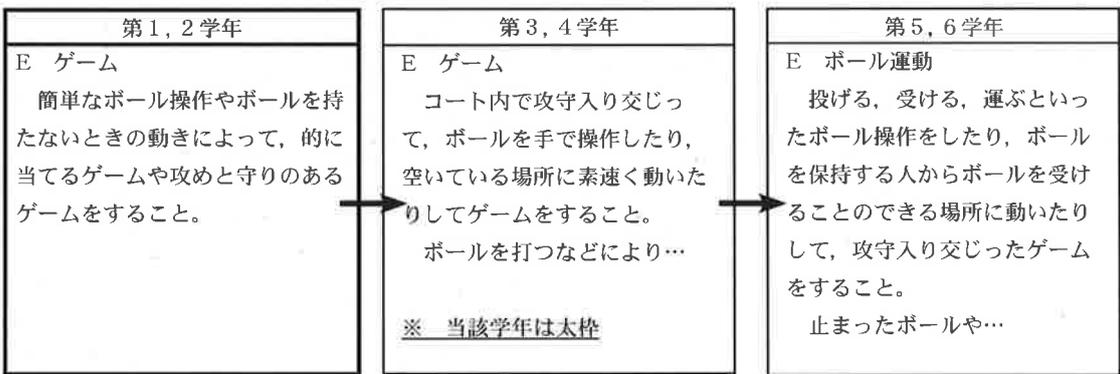
運動領域では, その運動ならではの楽しさである「機能的特性」、その運動の技能やルール, 知識である「構造的特性」、その運動によって身に付く体力や運動能力, 態度などである「効果的特性」を記入する。
保健領域では, 単元に対する考え方, 児童がこの単元を学習する意義, 学習によって期待される効果, 日常生活との関連, 指導者の思いなどを記入する。

(2) 児童の実態

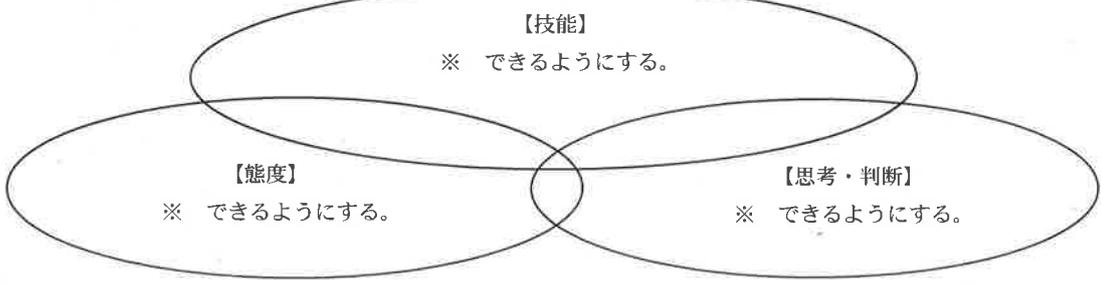
学習する領域に関する児童の興味や関心などの実態, 児童が今持っている力 (レディネス), アンケート結果, これまでの学習の様子などについて記入する。

※当該学年の内容を太枠で囲んでください。第5・6学年の場合, 中学校の内容を記載する必要はありません。

(3) 運動 (学習内容) の系統性



(4) 単元の目標



(5) 学びへの働きかけ（指導の意図）

○指導のポイント、指導の手立てや工夫、場づくり、教材教具の工夫、グループづくり、言語活動についてなど、指導観を記入する。

(6) 単元の流れ及び評価の計画

	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8
主なねらい	・学習の進め方を理解しよう。	・上手に投げて的に当てよう。		・みんなでボールをつないだり、作戦を立てたりしながら、ゲームを楽しもう。	・攻守交代のゲームを楽しもう。			・チームの力を合わせてゲームを楽しもう。
核となる学習内容	・学習の進め方 ・準備の仕方 ・投げる動作	・体の向き ・手の振り ・視線	・パスのつなぎ		・守りを意識したパス、シュート ・攻めを意識した守りの動き			・身に付けた技能をゲームで行う。
学習活動（「わかる・できる・ためす」／「いかす・チャレンジする」）	・「投げる」基本動作の確認 ・学習の見直しを持つ。	<p>【わくわくの的当てパーク】</p> <p>※「核となる学習内容」を念頭に置きながら、その「習得」を目指した学習内容（アプローチ）をできるだけ詳しく明記してください。</p> <p>※学習内容が、複数単位時間にまたがる場合は、重複を避けるために、セルを合成してもよいです。</p> <p>活動①スキルアップゲーム 【攻守入り交じり型】 (4対2)</p> <p>活動②ゲーム いけ！名シューター (4対4)</p> <p>活動③ゲーム 名シューター (4対3)</p> <p>※「活用」「探究」を目指した学習内容（アプローチ）をできるだけ詳しく明記してください。 ※セルの合成については、上記に準じます。</p>						いけ！名シューター ○○小選手権
評価の計画	関 ③	④	①	②			①	
思					③	①	②	①
技		①	①	②				

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
具体的な評価規準	<p>①ボールゲームに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②運動の順番やきまりを守り、友だちと仲よくゲームをしようとしている。</p> <p>③用具の準備や片付けを友だちと一緒にしようとしている。</p> <p>④場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。</p>	<p>①敵のいないところへ動いて、パスをもらっている。</p> <p>②空いている人を選んでパスを送っている。</p> <p>③チームにあった簡単な作戦を立てている。</p>	<p>①ねらった方向にボールを投げることができる。</p> <p>②友だちにパスをしたり、友だちからのパスを捕ったりすることができる。</p>
	<p>※1時間における評価の観点は、原則として1、多くても2が望ましいです。ただし、「思考・判断」と「技能」は同一時間に上げないようにします。単元全体を通じて、全ての観点を網羅できるように計画してください。</p>		

3 本時の学習 (5/8)

運動の順番やきまりを守り、友だちと仲よくゲームを行い、勝敗を素直に認めることができるようになる。【関心・意欲・態度】
 チームに合った作戦を見付けることができるようになる。【思考・判断】
 ボールをねらった方向に投げたり、守ったりしながら、ゲームをすることができるようになる。【技能】
 ふりかえり (作戦) ボード、学習カード、的当ての箱、児童机、的、ピブス

- (2) 準備
 (3) 展開

<p>学習の段階</p>	<p>学習活動と予想される児童の反応</p>	<p>○指導上の留意点・支援 ★評価 (方法)</p>
<p>ひらく</p>	<p>1 用具の準備 2 わくわくの的当てパーク 3 本時のめあての確認 チームに合った作戦を見付けよう。</p>	<p>※「児童のつぶやき」は、想定されるつまずきや困り感、次なる活動 (めあて) への意欲等を、「言葉かけ・教え合い」は、それを克服するような文言を書き添えてください。 の向き、手の振り、視線、足の向きなど</p>
<p>できる</p>	<p>4 活動① (スキルアップゲーム) ・パスをつないでシュートゲーム (3対1) ・パスをつないでシュートゲーム (守りなし) ・パスをつないでシュートゲーム (3対1)</p>	<p>○「パスをつないでシュートゲーム (守りなし)」では、声を出すことパスを受ける体の向きを中心に声をかけ、ゲーム</p>
<p>チャレンジ</p>	<p>※「ひらく」「ぶりがえる」の間の学習過程には、「習得」を「わかる」で記載し、「活用」「探究」を「活用」「探究」で記載し、人びいないところに動いて捕つてみる。 ※指導案中には、技能のポイントとなるようなイラストをどんでん使</p>	<p>○パワーアップタイムの時には、作戦ボードを使って、人やボールの動きを考えるなど、焦点を絞って話し合うようにする。 ★チームに合った作戦を考え、見付けている、【思】 ○振り返りボードを使って、「楽しさ」「めあて」を振り返るとともに、チームとしての活動を振り返り、次時の作戦につなげる。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>6 学習のまとめ ・ふりかえりボード</p>	<p>○もっと攻撃の作戦を増やす方法はないかなど、次時につなげる言葉かけをして学習に対する意欲を高める。</p>